

# 資料 1

## 令和5年度における施策推進方針(県北広域振興局)

県北広域振興圏の 目指すべき姿	多様かつ豊富な資源・技術、培われた知恵・文化を生かし、北東北、北海道に広がる交流・連携を深めながら、新たな地域振興を展開する地域
--------------------	--

※ **自然減・社会減対策**: 自然減・社会減対策、**DX**: デジタルトランスフォーメーション、**GX**: グリーントランスフォーメーション、**安全安心**: 安全安心、**広域**: 広域振興事業費、**北いわて**: 北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

施策推進方針	重要課題等	
1 若者・女性が活躍する地域づくり	(1) 働きやすく、安心して子供を産み育てられる環境づくりへの支援 (2) 若年者の地元定着とUターンの推進 (3) 新たな地域の担い手の移住・定住の推進	<b>自然減・社会減対策</b> 、 <b>広域</b> <b>自然減・社会減対策</b> 、 <b>広域</b> <b>自然減・社会減対策</b> 、 <b>広域</b>
2 所得向上を目指した産業振興	(1) 農林水産業の振興 (2) ものづくり産業の振興	<b>自然減・社会減対策</b> 、 <b>DX</b> 、 <b>GX</b> <b>自然減・社会減対策</b> 、 <b>広域</b> 、 <b>北いわて</b>
3 北いわてのポテンシャルを生かした未来づくり	(1) 地域資源を生かした観光・交流連携 (2) 再生可能エネルギーを生かした地域づくり (3) 多様な地域資源の伝承	<b>広域</b> 、 <b>北いわて</b> <b>GX</b> <b>北いわて</b>

### ◆ その他、令和5年度に取り組むべき課題

- (1) 高病原性鳥インフルエンザへの対策 **安全安心**  
地域の建設業者と連携した埋却訓練や市町村との連絡対策会議の開催による万全の対策
- (2) 日本海溝千島海溝沿いの巨大地震による津波浸水対策 **安全安心**  
管内市町村における新たな避難対策など防災対策の支援
- (3) JR八戸線維持確保対策  
久慈市や洋野町等と連携した利用促進策の検討等
- (4) 自殺対策  
包括的な自殺対策プログラム(久慈モデル)の展開

(二戸地域での埋却訓練の様子)



# いわて県民計画（2019～2028）の推進に係る重要課題（県北広域振興局）

## 「地域振興プラン（県北広域振興圏）」（1）若者・女性が活躍する地域づくり

※ **本庁**：本庁事業、**広域**：広域振興事業費、**地経費**：地域経営推進費、**北いわて**：北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

現状と課題	対応の方向性及び具体的な内容																																																							
<p><b>1 働きやすく、安心して子供を産み育てられる環境づくりへの支援</b></p> <p><b>(1) 低い婚姻率</b>                      県北振興圏域における「婚姻率」は、<b>4広域振興圏中、最も低い</b></p> <p>・婚姻率（広域圏域別、人口千人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>S55</th> <th>H22</th> <th>H27</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>県北</b></td> <td><b>6.3</b></td> <td><b>3.8</b></td> <td><b>3.4</b></td> <td><b>2.8</b></td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>6.9</td> <td>4.9</td> <td>4.7</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>5.7</td> <td>4.2</td> <td>3.9</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>沿岸</td> <td>5.5</td> <td>3.5</td> <td>3.7</td> <td>3.2</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>(2) 女性が働きやすい地域や職場環境づくり</b>                      「いわて女性活躍認定企業」の認定割合が全事業所数の<b>1.1%</b></p> <p>・いわて女性活躍認定企業等の認定状況（事業所、R5.1現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業所数</th> <th>Step1</th> <th>Step2</th> <th>認定数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>県北</b></td> <td><b>4,842</b></td> <td><b>26</b></td> <td><b>25</b></td> <td><b>51</b></td> <td><b>1.1%</b></td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>20,238</td> <td>68</td> <td>100</td> <td>168</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>20,205</td> <td>42</td> <td>83</td> <td>125</td> <td>0.6%</td> </tr> <tr> <td>沿岸</td> <td>8,659</td> <td>46</td> <td>28</td> <td>74</td> <td>0.9%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	S55	H22	H27	H30	<b>県北</b>	<b>6.3</b>	<b>3.8</b>	<b>3.4</b>	<b>2.8</b>	県央	6.9	4.9	4.7	4.0	県南	5.7	4.2	3.9	3.4	沿岸	5.5	3.5	3.7	3.2	区分	事業所数	Step1	Step2	認定数	割合	<b>県北</b>	<b>4,842</b>	<b>26</b>	<b>25</b>	<b>51</b>	<b>1.1%</b>	県央	20,238	68	100	168	0.8%	県南	20,205	42	83	125	0.6%	沿岸	8,659	46	28	74	0.9%	<p><b>(1) 婚姻率の向上（出逢いの機会の創出）</b> <span style="float: right; background-color: yellow; padding: 2px;">自然減・社会減対策</span></p> <p><b>ア 結婚支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北版の出会いと交流イベントを開催</li> <li>・ 管内の登録者数が低位にとどまっている「i-サポ」の登録を促進</li> </ul> <p><b>【北いわて縁むすび応援事業】（新規）</b> <b>地経費</b>  <b>【岩手であい・幸せ応援事業費】（継続、一部新規）</b> <b>本庁</b></p> <div style="text-align: center;">   </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">イラスト出典：“いきいき”岩手結婚サポートセンター</p> <p><b>イ 若者世代の交流促進</b>                      県北で働く若者を対象としたパークゴルフ大会を実施し、若者同士の新たな出会いと交流の機会を創出</p> <p><b>【地域企業の交流促進事業】（新規）</b> <b>地経費</b></p>
区分	S55	H22	H27	H30																																																				
<b>県北</b>	<b>6.3</b>	<b>3.8</b>	<b>3.4</b>	<b>2.8</b>																																																				
県央	6.9	4.9	4.7	4.0																																																				
県南	5.7	4.2	3.9	3.4																																																				
沿岸	5.5	3.5	3.7	3.2																																																				
区分	事業所数	Step1	Step2	認定数	割合																																																			
<b>県北</b>	<b>4,842</b>	<b>26</b>	<b>25</b>	<b>51</b>	<b>1.1%</b>																																																			
県央	20,238	68	100	168	0.8%																																																			
県南	20,205	42	83	125	0.6%																																																			
沿岸	8,659	46	28	74	0.9%																																																			
	<p><b>(2) 女性の働きやすい環境整備と人材確保の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北地域の事業所における「いわて女性活躍認定企業」の認証取得の取組を支援</li> <li>・ 企業を対象とした「働きやすい職場環境づくり」等に関するセミナーや研修会の開催</li> </ul> <p><b>【北いわて未来づくりネットワークの推進】（継続）</b> <b>広域、北いわて</b></p>																																																							

現状と課題

2 若年者の地元定着とUターンの推進

(1) 若年者の圏外への転出

新規高卒者の約7割が進学しており、地元を離れる若年者が多い。

令和3年度新規高卒者の管内就職率は50.2%であり、4広域振興圏中、最も低い。

・ 県北圏域高卒者の管内就職率(%)、カッコ内は前年実績)

年度	県北	県央	県南	沿岸
R3	50.2(37.7)	58.0(56.6)	71.4(67.5)	51.6(56.5)



(企業見学会 久慈琥珀株式会社)



(企業見学会 株式会社二戸食品)

対応の方向性及び具体的な内容

若年者の地元就職・定着促進

自然減・社会減対策

ア 若年者の地元就職支援

地域の小中高生を対象とした地元企業を理解するイベントや体験ツアー等を実施

【キャリア教育推進事業】(継続) 広域、北いわて

【北いわてアパレルインターンシッププログラム】(新規)

広域、北いわて

【北いわてアパレル産業人材育成支援事業】(継続、一部新規) 地経費

【北いわてチキン産業推進事業】(継続) 広域、北いわて

【建設業ふれあい事業】(継続) 地経費

イ Uターンの促進

大学生によるフィールドワークを通じて、県北地域へのUターンの課題を整理

【移住定住及びU・Iターン促進事業】(新規) 広域、北いわて

ウ 若年者の定着促進

地域企業に対する定着支援セミナーや若年者向け職場定着セミナーを実施

【新規学卒就職者等の定着促進】(継続) 広域、北いわて

エ 若者の地域づくりへの参画促進

カシオペアFMを通じて、二戸地域の学生や若者による地域づくり情報を継続的に発信し、地域づくりへの参画意識を向上

【カシオペア地域づくり活性化推進事業】(継続) 地経費

現状と課題

3 新たな地域の担い手の移住・定住の推進

(1) 若年者の圏外への転出（再掲）

新規高卒者の約7割が進学しており、地元を離れる若年者が多い。

令和3年度新規高卒者の管内就職率は50.2%であり、4広域振興圏中、最も低い。

・ 県北圏域高卒者の管内就職率（%、カッコ内は前年実績）

年度	県北	県央	県南	沿岸
R3	50.2(37.7)	58.0(56.6)	71.4(67.5)	51.6(56.5)

(2) 地域おこし協力隊等移住者の定着・定住率の向上

本県における地域おこし協力隊の任期終了後の県内定着率は7割程度。

全国平均は上回っているものの、更なる定着率の向上に向けた支援が必要。

・ 地域おこし協力隊員の任期終了者数と定着率

順位	都道府県	任期終了者	うち定住者	定住率
1	大阪府	2	2	100%
2	東京都	28	24	73.8%
～				
11	大分県	276	190	68.8%
12	岩手県	248	170	68.5%
13	愛媛県	224	151	67.4%
～				
46	佐賀県	61	33	54.1%
47	秋田県	140	73	52.1%

（出典：総務省「令和4年度地域おこし協力隊の定住状況等に係る調査結果」）

対応の方向性及び具体的な内容

(1) U・Iターンの促進

自然減・社会減対策

- 管内市町村連携による移住定住施策の検討や移住フェアへの参画
  - 市町村担当者等をメンバーとする「県北移住定住推進プロジェクトチーム」の設置
  - 移住フェアで配布するU・Iターン向け県北版企業ガイドの作成
  - 東京都での移住フェア（本庁主催）における県北「しごと」情報の提供
- 【北いわて仕事情報発信事業】（新規） 地経費

(2) 新たな地域の担い手の定着・定住

自然減・社会減対策

- 地域おこし協力隊等が抱える課題の解決に向け、起業支援等の専門家を派遣
  - 地域おこし協力隊OB・OG等との交流会により、任期終了後の定着・定住に向けたイメージ作りを支援
  - 地域の安定的な雇用環境の創出が期待される「特定地域づくり事業協同組合」に係る勉強会を開催
- 【新たな地域の担い手（地域おこし協力隊等）の定着支援】（継続）  
広域、北いわて



地域おこし協力隊 交流会



地域おこし協力隊 OB・OG等活動報告会

「地域振興プラン（県北広域振興圏）」（2） 所得向上を目指した産業の振興

※ **本庁**：本庁事業、**広域**：広域振興事業、**地経費**：地域経営推進費、**北いわて**：北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

現状と課題	対応の方向性及び具体的な内容																									
<p><b>1 農業の振興</b></p> <p><b>(1) 先導的な経営体の育成</b>                      地域特性を生かした県内有数の農産物の産地が形成されており、<u>産地をけん引する優れた経営体（農畜産物販売額1,000万円以上）</u>を育成する取組が必要</p> <p><b>(2) 農業従事者の減少</b>                      農業従事者が過去10年間で急減しており、<u>新規就農者の確保と定着に向けた経営の安定化</u>に向けた取組が必要</p> <p>・農家数（広域圏域別、農業センサス）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H22</th> <th>H27</th> <th>R1</th> <th>増減率 (H22→R1)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="border: 2px solid red;"> <td>県北</td> <td>9,615</td> <td>8,201</td> <td>6,324</td> <td>△34.2%</td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>16,233</td> <td>14,326</td> <td>11,776</td> <td>△27.5%</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>42,205</td> <td>37,065</td> <td>29,512</td> <td>△30.1%</td> </tr> <tr> <td>沿岸</td> <td>8,324</td> <td>6,507</td> <td>5,036</td> <td>△39.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H22	H27	R1	増減率 (H22→R1)	県北	9,615	8,201	6,324	△34.2%	県央	16,233	14,326	11,776	△27.5%	県南	42,205	37,065	29,512	△30.1%	沿岸	8,324	6,507	5,036	△39.6%	<p><b>(1) 先導的な経営体等の育成</b></p> <p><b>ア 経営体の経営効率化</b>                      認定農業者などを対象に、生産管理方法や工程改善ノウハウ（現場改善）の定着に向けたフォローアップ等を実施  <b>【農林水産業経営力向上支援「カイゼン塾」事業】（継続）</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地経費</span></p> <p><b>イ 認定農業者の育成</b>                      農業経営改善計画の作成・見直し支援及び、改善計画の目標達成に向けた単年度計画を活用した技術・経営指導を実施  <b>【経営能力向上支援研修会】（継続）</b>  <b>【担い手の新技術導入等への支援】（継続）</b></p> <p style="background-color: #003366; color: white; padding: 5px;"><b>(2) 農業の担い手確保と定着支援</b> <span style="float: right; background-color: yellow; border: 1px solid black; padding: 2px;">自然減・社会減対策</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規就農者を確保するため、就農希望者に対しワンストップ就農相談による情報の円滑な提供や就農準備を支援  <b>【就農相談会の定期開催】（継続）</b></li> <li>・ 新規就農者の定着に向け、生産技術の習得や経営力の向上を支援するなど、発展段階に応じた重点指導により経営の安定化を推進  <b>【生産技術・経営能力向上研修会の開催】（継続）</b></li> </ul>
区分	H22	H27	R1	増減率 (H22→R1)																						
県北	9,615	8,201	6,324	△34.2%																						
県央	16,233	14,326	11,776	△27.5%																						
県南	42,205	37,065	29,512	△30.1%																						
沿岸	8,324	6,507	5,036	△39.6%																						

現状と課題

(3) 収益性の高い園芸品目等の産地形成等

- ・ 収益性の高い農産物による優良産地の形成や、特色ある農畜産物のブランド化が重要
- ・ 基幹的な農業施設等の整備や農業経営体の生産性向上に向けた農地等の基盤整備が必要
- ・ 農業総生産（広域圏域別、単位100万円、市町村民経済計算年報）

区分	H23	H27	R1	増減率 (H23→R1)
県北	22,733	23,424	25,371	11.6%
県央	28,963	27,432	29,888	3.2%
県南	44,364	40,702	45,589	2.8%
沿岸	6,284	6,443	6,711	6.8%



ブランド名「冬恋」(りんご「はるか」)



ほうれんそう加湿制御装置

対応の方向性及び具体的な内容

(3) 特色ある農畜産物による産地形成

DX

GX

ア 新技術の導入による優良産地の形成

ほうれんそうなどの収量増加や生産性向上のための技術導入により、優良産地を形成

【ほうれんそう夏期収量アップチャレンジ事業】(継続) **地経費**

【豚ぱんペレットを活用した水稲栽培に係る新技術の導入】

【花崗岩質土壌地帯での草地更新実証事業】(新規) **地経費**

【スマート果樹栽培推進事業】(継続) **地経費**

イ 新品目、新品種の導入による特色ある農畜産物のブランド化

「冬恋」に続くブランドりんごの育成など、新品目・新品種導入の取組を支援

【ブランド果物育成支援事業】(新規) **地経費**

【久慈地域複合野菜産地育成支援事業】(新規) **地経費**

(4) 農業生産基盤の整備

ア 基幹的農業施設整備の支援

- ・ 地域の担い手農家の生産基盤整備を支援
- ・ 米乾燥調製施設の整備や大型園芸施設の整備に向けた計画策定を支援

【地域農業計画実践支援事業】(継続)

【産地生産基盤パワーアップ事業】(継続)

【強い農業づくり総合支援交付金】(継続)

【農業競争力強化基盤整備事業】(継続)

イ 農地の生産性の向上

水田や畑地の生産性を向上させるために、農地の整備等を推進

【経営体育成基盤整備事業】(継続)

【畑地帯総合整備事業】(継続)

現状と課題

2 林業の振興

(1) 地域材や特用林産物の生産体制の強化と利用拡大

- ・ 県北地域の特徴的な森林資源であるアカマツの需要拡大の取組が必要
- ・ 乾シイタケは、高品質の商品を消費者に届けるための販売促進や消費拡大に向けた取組が重要
- ・ 木炭は、生産者価格の安定など、生産者が安定的に経営できる体制づくりが必要
- ・ 浄法寺漆は、国指定文化財の修復等により一定の需要が見込まれるが、供給体制の確保が課題

・ 林業総生産（広域圏域別、単位100万円、市町村民経済計算年報）

区分	H23	H27	R1	増減率 (H23→R1)
県北	2,577	3,953	3,414	32.5%
県央	2,110	2,798	2,457	16.4%
県南	3,030	4,038	3,234	6.7%
沿岸	4,661	4,823	4,411	△5.4%

(2) 林業従事者の減少

林業従事者数が急減しており、新規就業者の確保と中核的林業技術者の育成が必要

・ 林家数（広域圏域別、農業センサス）

区分	H22	H27	R1	増減率 (H22→R1)
県北	2,214	1,370	539	△75.7%
県央	1,422	1,028	406	△71.4%
県南	3,406	1,841	462	△86.4%
沿岸	1,753	740	321	△81.7%

対応の方向性及び具体的な内容

(1) 多様な林産物の需要拡大と地域材の販路確保、健全な森林づくりの推進

ア 多様な林産物の需要拡大と地域材の販路確保

地域の豊富な森林資源であるアカマツの販路拡大、原木しいたけや木炭の付加価値・収益性向上に向けた取組等を支援

【南部アカマツ流通開拓促進事業】（新規） 地経費

【久慈地方原木しいたけ付加価値向上推進事業】（継続） 地経費

【日本一の北いわて木炭産業振興推進事業】（継続） 地経費

イ 地域の特色ある森林資源の確保、健全な森林づくりの推進

生漆などの地域の特色ある森林資源を確保するため、生産手法の検証や現地調査等を実施

【浄法寺漆資源確保支援事業】（継続） 地経費

(2) 林業の担い手確保

自然減・社会減対策 DX GX

- ・ 高校生を対象とした「体験型林業・木材講座」の取組を支援
  - ・ 「自伐型林業」に取組む地域おこし協力隊の活動等を支援
- 【林業・木材産業新規就業者確保支援事業】（継続） 地経費
- 【自伐型林業スタートアップ支援事業】（継続） 地経費

現状と課題

3 水産業の振興

(1) 漁業生産量等の減少

- ・ 主要魚種であるサケやスルメイカの資源量が大幅に減少
- ・ 磯焼けの進行により、アワビやウニの漁獲量が減少
- ・ 養殖業では、病虫害や大量斃死が発生し、ホタテやワカメの生産量が大きく減少
- ・ サケ、アワビ、ウニ等については、資源量・漁獲量の回復を図ることが重要
- ・ 近年、資源量が増加しているブリやサワラなどの暖水系魚種の有効利用が課題
- ・ 水産業総生産（広域圏域別、単位100万円、市町村民経済計算年報）

区分	H23	H27	R1	増減率 (H23→R1)
県北	2,655	4,356	3,387	27.6%
沿岸	10,664	19,041	17,725	66.2%

(2) 漁業従事者の減少

漁業従事者の高齢化と減少が深刻化しており、新規就業者の確保と中核的漁業経営体の育成が必要

- ・ 漁業経営体数（広域圏域別、漁業センサス）

区分	H20	H25	H30	増減率 (H23→H30)
県北	1,074	795	643	△40.1%
沿岸	4,239	2,570	2,763	△34.8%

対応の方向性及び具体的な内容

(1) 水産資源量・漁業生産量の回復と養殖生産技術の向上等

ア 水産資源量と漁業生産量の回復

- ・ サケ種卵の安定確保及び大型で強靱な稚魚の生産と適期放流の推進
- ・ ウニ、アワビの漁獲量回復を図るため、洋野町と野田村において、漁協間連携による餌コンブ確保対策を推進

【さけ資源緊急回復支援事業】（継続） 本庁

【地域連携による飼料海藻確保対策事業】（新規） 地経費（市町村、広域枠）

【農水連携ウニ蓄養事業】（継続） 地経費

イ 養殖生産技術の向上と新たな養殖種目の安定生産

- ・ ワカメ生産性向上に向けた指導やホタテガイの斃死要因の調査
- ・ 新たな養殖種目（ギンザケ）の安定生産に向けた技術指導

【養殖生産技術高度化推進事業】（継続） 本庁

【ギンザケ養殖施設リース事業補助金】（継続） 地経費（市町村）

ウ 増加している水産資源の有効利用

資源が増加した暖水系魚種の有効利用例の調査、試験操業の実施及び鮮度保持対策の検討

【新たな水産資源利活用モデル開発事業】（新規） 本庁

【県北型新漁法チャレンジ事業】（新規） 地経費

(2) 漁業担い手の確保と育成

自然減・社会減対策

- ・ 小中学校及び高校の児童・生徒を対象とした漁業体験活動や市町村・漁協・いわて水産アカデミーと連携した新規就業者の受入体制の整備
- ・ 中核的漁業経営体の経営規模の拡大や法人化の取組を支援

【浜の担い手確保育成事業】（新規） 地経費

【久慈地域の「水産業の魅力」発信力向上支援事業】（継続） 地経費

【漁業担い手確保・育成総合対策事業】（継続） 本庁

現状と課題

4 食産業、アパレルなどものづくり産業の振興

(1) 食産業の振興

- ・ ブロイラー産業を除き、食産業事業者は小規模・零細経営が多数
- ・ 商品開発・販路拡大・人材育成・事業承継など、個々の事業者の課題に応じた支援が必要

(2) アパレルなどものづくり産業の振興

- ・ 商品開発・販路拡大・人材育成・事業承継など、個々の事業者の課題に応じた支援が必要
- ・ アパレル関連産業は安定的な受注先の確保や認知度の向上が課題

(3) ものづくりを担う人材の確保（再掲）

新規高卒者の約7割が進学しており、進学をきっかけに地元を離れる若年者が多い。

令和3年度新規高卒者の管内就職率は50.2%であり、4広域振興圏中、最も低い。

・ 県北圏域高卒者の管内就職率（%、カッコ内は前年実績）

年度	県北	県央	県南	沿岸
R3	50.2(37.7)	58.0(56.6)	71.4(67.5)	51.6(56.5)

対応の方向性及び具体的な内容

(1) 地域産業の振興

ア 食産業やものづくり産業に係る事業者の経営課題に応じた支援

- ・ 北いわて食産業・ものづくりネットワークコーディネーターを派遣し、伴走型支援を実施 **本庁、広域**
- ・ トヨタ式カイゼンの導入などの生産性向上の取組を支援  
【北いわて地域産業成長促進支援事業】（継続） **広域、北いわて**  
【北いわて食産業支援体制強化事業】（継続） **広域、北いわて**

イ 北いわて食材の認知度向上及び販路拡大

県北地域の畜産物、農林水産物、加工品などの認知度向上及び販路拡大を推進

- 【北いわての食産業魅力づくり推進事業】（継続） **地経費**
- 【北いわての「食・技」販路拡大促進事業】（継続） **地経費**
- 【北いわて食産業魅力発信事業】（継続） **地経費**
- 【北いわての食・観光資源を活用した魅力発信事業】（継続） **地経費**

ウ アパレル事業者の高い技術力の発信及び販路拡大

販路拡大を目的とした「いわてアパレル企業ビジネスマッチング商談会」の開催を支援

- 【北いわてアパレル産業人材育成支援事業】（継続、一部新規） **地経費**

(2) 次世代を担う地域産業人材の育成

自然減・社会減対策

- ・ 高校生を対象としたブロイラー産業の理解醸成のため出前講座を実施
- ・ アパレル人材の確保に向けたインターンシップ事業への支援  
【北いわてものづくり産業人材育成・交流推進事業】（継続） **地経費**  
【北いわてアパレルインターンシッププログラム】（新規）  
**広域、北いわて**（再掲）  
【キャリア教育推進事業】（継続） **広域、北いわて**（再掲）

「地域振興プラン（県北広域振興圏）」（3）北いわてのポテンシャルを生かした未来づくり

※ **本庁**：本庁事業、**広域**：広域振興事業、**地経費**：地域経営推進費、**北いわて**：北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクト

現状と課題	対応の方向性及び具体的な内容																				
<p><b>1 地域資源を生かした観光・交流連携</b></p> <p><b>(1) 新型コロナウイルスによる観光への影響</b>                      新型コロナウイルス感染症の影響により、管内の観光入込人数が減少</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北圏域の観光入込人数（延べ人数、万人未満切捨）</li> </ul> <table border="1" data-bbox="159 683 898 767"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入込人数</td> <td>273</td> <td>267</td> <td>169</td> <td>174</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>(2) 世界遺産「御所野遺跡」を始めとする地域資源</b>                      世界遺産に登録された御所野遺跡の魅力を圏域内外に向けて効果的に発信し、より一層の誘客を図ることが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 御所野遺跡の観光入込人数（延べ人数、千人未満切捨）</li> </ul> <table border="1" data-bbox="159 1002 898 1086"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入込人数</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>(3) 隣接圏域との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全線開通した三陸沿岸道路により、八戸圏域などとの交流人口の増加が見込まれる</li> <li>・ 令和5年4月19日に開業した久慈広域道の駅「いわて北三陸」との相乗効果が期待される</li> </ul> <p><b>(4) 国内外からの誘客</b>                      NYタイムズ紙「2023年に行くべき52か所」に盛岡市が掲載されたことから、国内外から本県への観光客の増加が期待される</p>	区分	H30	R1	R2	R3	観光入込人数	273	267	169	174	区分	H30	R1	R2	R3	観光入込人数	22	23	19	32	<p><b>(1) 特色ある地域資源を活用した広域観光の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界遺産「御所野遺跡」や北三陸「あまちゃん」などを活用し、国内客はもとより盛岡市を訪れる外国人観光客等の誘客を促進</li> <li>・ 八戸圏域との周遊を促進するための観光キャンペーンの実施</li> <li>・ 久慈広域道の駅「いわて北三陸」を起点とする久慈管内4市町村の周遊デジタルスタンプラリー等を実施</li> </ul> <p>【北いわての地域資源を活用した魅力発信事業】（継続）  <b>広域、北いわて</b> ※ 御所野世界遺産登録周年事業の展開を含む</p> <p>【カシオペア地域魅力発信事業】（新規） <b>地経費</b></p> <p>【久慈広域道の駅周遊促進事業】（新規） <b>地経費</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1025 914 1496 1198" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1608 914 2112 1198" data-label="Image"> </div> </div> <p style="text-align: center;">御所野遺跡</p> <p style="text-align: center;">久慈広域道の駅「いわて北三陸」</p> <p><b>(2) 沿岸広域振興局と連携した観光プロモーションと周遊促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さんりく周遊トレイルスタンプラリーの開催</li> <li>・ 公益財団法人さんりく基金（三陸DMOセンター）及び沿岸広域振興局と連携した「ツーリズムEXPOジャパン2023」への出展</li> </ul> <p>【北いわて観光誘客推進強化事業】（新規） <b>地経費</b></p>
区分	H30	R1	R2	R3																	
観光入込人数	273	267	169	174																	
区分	H30	R1	R2	R3																	
観光入込人数	22	23	19	32																	

## 現状と課題

### 2 再生可能エネルギーを生かした地域づくり

#### (1) 太陽光・風力・バイオマスなど再生可能エネルギー導入及び利活用の促進

- ・ 県北圏域では、民間事業者主導により大規模な太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーの導入が進展
- ・ 再生可能エネルギーの導入が地域の活性化に資する事業となるよう、地元企業の参入可能性や地域新電力の活用等に係る取組が必要

#### (2) 洋上風力発電事業の実現

- ・ 久慈市においては、洋上風力発電の可能性のある海域のゾーニングマップを作成し、県と共同で漁業者との調整を開始
- ・ 洋上風力発電の実現に向けて、関係市町村と連携し、導入に向けた協働の取組を推進

#### (3) 再生可能エネルギーを生かした地域づくり

- ・ 横浜市との連携協定に基づく再生可能エネルギーの活用や地域間の交流連携を促進
- ・ 県北圏域では多くの再生可能エネルギー施設の導入が進んでいることから、住民理解の醸成が必要

## 対応の方向性及び具体的な内容

### (1) 再生可能エネルギー導入に向けた支援

GX

- ・ 再生可能エネルギーの導入に取り組む市町村の支援や先進事例の共有
- ・ 公共施設における再生可能エネルギーの導入に取り組み、管内の再生可能エネルギーの利活用を促進

【地域脱炭素移行・再エネ推進交付金事業】

環境省事業

【北いわて再生可能エネルギー勉強会の開催】

ゼロ予算

【県有施設への再生可能エネルギー設備導入の検討】

ゼロ予算

### (2) 洋上風力発電事業の実現に向けた支援

GX

- ・ 再生可能エネルギーに関する理解の促進
- ・ 将来的な関係産業の育成に向けて、地元企業向けのセミナー及び先進地視察を開催

【北いわて再エネ広域連携推進事業】(継続)

地経費



洋上風力発電施設



洋上風況観測装置(フローティングライダー)

### (3) 再生可能エネルギーに対する住民理解の醸成

GX

- ・ 横浜市との連携協定に基づく再生可能エネルギーの活用や地域間の交流連携を促進
- ・ 住民の再生可能エネルギーに対する理解を促進

【北いわて再エネ広域連携推進事業】(継続)

地経費

(再掲)

【管内教育機関、住民への普及啓発】

ゼロ予算

現状と課題

3 多様な地域資源の伝承

- ・ 少子化等を要因とした人口の減少や高齢化の進行により、伝統文化等においても担い手不足が顕在化しており、地域の共通財産として、それらを次世代に引き継いでいくことが必要
- ・ 文化芸術の裾野を拡大するためには、人材育成、環境整備を進めていくことが必要
- ・ 年少人口（0歳～14歳）の推移（人）

区分	S59	H22	H27	R2
久慈	19,446	8,385	6,995	5,736
二戸	17,128	6,855	5,898	4,799
計	36,574	15,240	12,893	10,535

対応の方向性及び具体的な内容

文化芸術に直接触れる機会の充実

児童に文化芸術や地域の民俗芸能に触れる機会を提供するとともに、児童と地域の団体の交流を通じて地域の活性化を推進

【北いわて・こども文化芸術体験ひろば】（継続、一部新規） 地経費



山内太鼓（軽米町）